

**Microsoft System Center 2012 Virtual
Machine Manager 用 Dell Lifecycle Controller
Integration バージョン 1.2
インストールガイド**



メモ、注意、警告

-  **メモ:** メモでは、コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** 注意では、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 警告では、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2009 - 2016 Dell Inc. 無断転載を禁じます。 この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2016 - 03

Rev. A00

目次

1 Microsoft System Center 2012 Virtual Machine Manager 用 Dell Lifecycle Controller Integration について.....	4
2 SC2012 VMM 用 DLCI のコンポーネント.....	5
ユーザー – 役割と特権.....	5
アプライアンスで使用されるポート.....	6
3 アプライアンスのインストール.....	8
管理システムのシステム要件.....	8
アプライアンスのダウンロード.....	9
アプライアンスのセットアップ.....	9
統合ゲートウェイの変更.....	12
統合ゲートウェイの修復.....	13
SC2012 VMM と統合ゲートウェイの資格情報の変更.....	13
4 SC2012 VMM 用 DLCI のアップグレード.....	14
Service Pack のアップデートについて.....	14
アプライアンス Service Pack およびインフラ Service Pack のダウンロード.....	14
Service Pack アップデートの前提条件.....	15
Service Pack アップデートのリポジトリへのコピー.....	15
リポジトリ URL 情報の入力.....	15
Service Pack アップデートのインストール.....	15
5 アプライアンスのアンインストール.....	18
統合ゲートウェイの削除.....	18
SCVMM からのコンソールアドインのを削除.....	18
コンソールアドインのアンインストール.....	18
アプライアンスの削除.....	19
その他のアンインストール手順.....	19
アプライアンス固有の RunAsAccounts の削除.....	19
DLCI アプリケーションプロファイルの削除.....	19
6 デルサポートサイトからの文書へのアクセス.....	20

Microsoft System Center 2012 Virtual Machine Manager 用 Dell Lifecycle Controller Integration について

Microsoft System Center 2012 Virtual Machine Manager (SC2012 VMM) 用 Dell Lifecycle Controller Integration (DLCI) では、ハードウェアの設定を可能にし、ファームウェアアップデート、および Dell サーバーへの Hyper-V 導入のプロセスを簡素化および改善するためのソリューションを提供します。また、サーバーイメージが破損した場合、サーバープロファイルをエクスポートして、類似のサーバーグループの同一サーバープロファイルをインポートできます。このプラグインでは、Dell Remote Access Controller (iDRAC) with Lifecycle Controller のリモート導入機能を使用してシームレスなユーザー体験を実現し、Microsoft System Center コンソールを介して Dell の価値付加を仮想化環境の管理に活用することができます。

Microsoft System Center Virtual Machine Manager についての情報は、Microsoft の文書を参照してください。

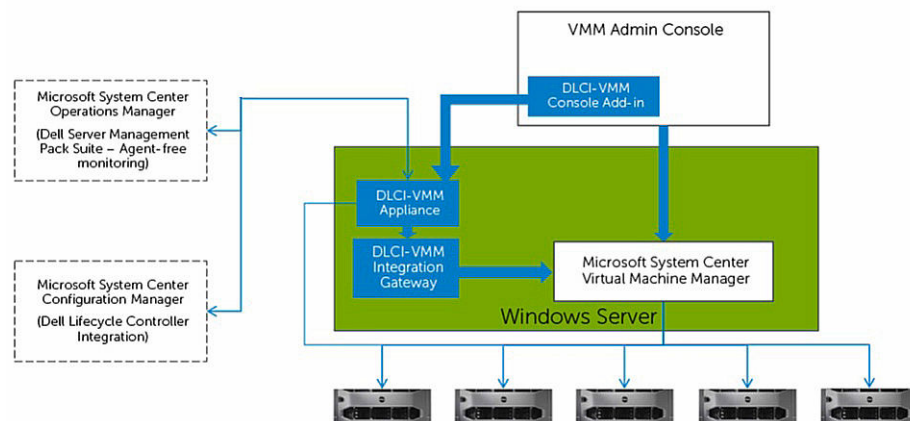
この文書には、DLCI アプライアンスのインストールに必要な前提条件と対応ソフトウェアに関する情報が記載されています。DLCI アプライアンスのリリース日から長期間経過した後でこのバージョンの DLCI アプライアンスをインストールしている場合は、dell.com/support/home で本書のアップデートバージョンの有無をチェックしてください。

SC2012 VMM 用 DLCI のコンポーネント

SC2012 VMM 用 DLCI のコンポーネントは次のとおりです。

- System Center Virtual Machine Manager (SC2012 VMM) 用 Dell Lifecycle Controller Integration (DLCI)。これはアプライアンスとも呼ばれており、次の機能があります。
 - CentOS をベースとした仮想マシンとして Hyper-V 上でホストされます。
 - Web Services-Management (WSMAN) を使用して iDRAC 経由で Dell サーバーと対話します。
 - 管理ポータル経由でのアプライアンスの管理を可能にします。
 - すべてのジョブ、全ユーザーからのアクティビティログ、およびライセンス情報の表示を可能にします。
- 統合ゲートウェイ (IG) とも呼ばれる SC2012 VMM の DLCI 統合ゲートウェイは、Windows Server にインストールされた一連のウェブサーバーで、アプライアンスのために SC2012 VMM PowerShell コマンドと WinPE カスタマイズを実行します。
- DLCI コンソールとも呼ばれる SC2012 VMM 用 DLCI コンソールアドインは、LC ドライバインジェクションの有無にかかわらず、検出、プロファイル作成、オペレーティングシステムの導入などのアプライアンスベースのタスク、およびファームウェアのアップデートを実行することができます。

次の図は、コンポーネントおよびその他のソフトウェアを使った DLCI アプライアンスのセットアップを示しています。



ユーザー — 役割と特権

DCLI アプライアンスコンポーネントおよびその他ソフトウェアによって必要とされるユーザーは次のとおりです。

表 1. : 役割と特権

役割	DLCI アプライアンス管理者	統合ゲートウェイサービスアカウント	統合ゲートウェイコントリビュータアカウント
特性	アプライアンス固有のユーザー (管理者)	このアカウントの特性は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> 有効な <ドメイン> ユーザーである。 統合ゲートウェイサーバーにアクセスするためのローカル管理者権限 VMM 管理者権限 	統合ゲートウェイサーバーにアクセスするためのローカル管理者権限を持つ有効な <ドメイン> ユーザー。
DLCI アプライアンスコンポーネントアクセス	管理ポータル DLCI アプライアンス	統合ゲートウェイ	
機能 (明示的に記載されていない限り、リストされているものの作成、表示、編集、削除するためのアクセス権を持つ)	<ul style="list-style-type: none"> セットアップと設定 アクティビティログ 統合ゲートウェイのダウンロード コンソールアドインのダウンロード ライセンスの詳細 DLCI アプライアンスユーザーのすべての機能 	(可視的な機能なし)	

アプライアンスで使用されるポート

これらのポートは、アプライアンスのさまざまなコンポーネントによって使用されます。ファイアウォールの例外リストにこれらのポートを追加してください。

表 2. アプライアンスで使用されるポート

詳細	プロトコル	デフォルトポート	ポート設定の変更箇所
iDRAC または OMSA 通信	WSMAN	443	設定不可能
FTP コマンドクライアント	FTP	21	設定不可能
DNS クライアント	DNS	53	設定不可能
Dell オンラインデータアクセス	HTTP	80	設定不可能
管理コンソール	HTTP	80	設定不可能

詳細	プロトコル	デフォルトポート	ポート設定の変更箇所
HTTPS サーバー	HTTPS	443	設定不可能
PostgreSQL	Postgres	5432	設定不可能
統合ゲートウェイ	HTTPS	8455	統合ゲートウェイのインストール中に設定可能。
自動検出	HTTPS	4433	設定不可能
iDRAC — これらのポートは、iDRAC が統合ゲートウェイによって作成された CIFS 共有にアクセスできるように有効化されています。	HTTPS	135 から 139、および 445	設定不可能

アプライアンスのインストール

アプライアンスをインストールするには、次の手順を実行します。

1. システム要件をチェックして確認します。詳細に関しては「[管理システムのシステム要件](#)」を参照してください。
2. アプライアンスをダウンロードします。詳細に関しては「[アプライアンスのダウンロード](#)」を参照してください。
3. アプライアンスをセットアップします。詳細に関しては「[アプライアンスのセットアップ](#)」を参照してください。

管理システムのシステム要件

管理システムとは、アプライアンスとそのコンポーネントがインストールされているシステムです。

- アプライアンスの要件：
 - Windows Server 2012 R2 または Windows Server 2012 がインストールされており、Hyper-V 役割が有効になっている。
- 統合ゲートウェイの要件：
 - Windows Server 2012 R2 または Windows Server 2012 がインストールされている。
 - Microsoft .NET バージョン 3.5 がインストールされている。
 - SC2012 VMM R2 UR8 コンソールまたは SC2012 VMM SP1 UR10 コンソール以降がインストールされている。
- * SC2012 VMM R2 および SC 2012 VMM SP1 コンソールに共通のシステム要件：
 - Microsoft .NET バージョン 4.5 がインストールされている。
 - HTTP アクティブ化が有効になっている。
 - IIS 7.5 以降がインストールされている。
 - IIS の Windows 認証がインストールされている。
 - IIS の URL 認証が有効になっている。
 - IIS 6 メタベース互換性が有効になっており、そこで IIS 6 WMI 互換性および IIS 6 スクリプトツールが有効になっている。
 - フェイルオーバークラスタリング機能が有効になっている。

- * SC2012 VMM R2 コンソール固有のシステム要件：
 - SC2012 VMM SP1 から SC2012 VMM R2 にアップグレードしている場合は、Windows PowerShell 4.0 へのアップグレードが必要です。
 - Windows アセスメント & デプロイメントキット (ADK) 8.1 がインストールされている。
- * SC2012 VMM SP1 コンソール固有のシステム要件：
 - SC2012 VMM SP1 アップデートロールアップ 5 以降にアップデートしている場合は、以下の点を考慮してください。SC2012 VMM コンソールへのアドインのインポート時にコンソールがクラッシュする場合があります。この問題についての情報と解決方法については、サポート技術情報、support.microsoft.com/kb/2785682 の問題 5 を参照してください。このアップデートは、インストールされているアップデートロールアップのバージョンに関わらず、実行するようにしてください。
 - Windows アセスメント & デプロイメントキット (ADK) 8.0 がインストールされている。
- 組織の PowerShell 実行ポリシーのガイドラインを検討し、ローカルマシンに有効な実行ポリシーが RemoteSigned として設定され、**統合ゲートウェイサービスアカウント**で Unrestricted として設定されていることを確認します。ポリシー設定の詳細に関しては、次の MSDN の記事を参照してください。
 - * **PowerShell 実行ポリシー**： technet.microsoft.com/en-us/library/hh847748.aspx
 - * **PowerShell グループポリシー**： technet.microsoft.com/library/jj149004
- 管理ポータル要件：
 - Internet Explorer 10 以降が使用できる。
 - Mozilla Firefox 30 以降が使用できる。
 - Google Chrome 23 以降が使用できる。

アプライアンスのダウンロード

SC2012 VMM 用 DLCI のインストールおよびセットアップを行うには、アプライアンス、統合ゲートウェイ、コンソールアドインの各コンポーネントをダウンロードしてインストールします。
アプライアンスのダウンロード：

1. SC2012 用 DLCI を使用するためのライセンスがある場合は、デジタル資格情報ポータルから SC2012 VMM 用 DLCI をダウンロードし、ライセンスがない場合には、デルサポートチームに有効なライセンスについてお問い合わせください。
アプライアンスのダウンロード、インストール、および「[アプライアンスのセットアップ](#)」が終了したら、管理ポータルから統合ゲートウェイとコンソールアドインのダウンロードとインストールを行うことができます。
2. ダウンロードファイルを解凍して、VHD ファイルとマニュアルを表示します。

アプライアンスのセットアップ


開始する前に、アプライアンスをセットアップする Hyper-V について次の項目を確認してください。


- **仮想スイッチ** が設定済みで使用可能である。
- SC2012 VMM がセットアップされているシステムのユーザー資格情報。
- SC2012 VMM の完全修飾ドメイン名。

- 統合ゲートウェイの完全修飾ドメイン名およびユーザーの資格情報。
- 設定ファイルを保管する共有ネットワークの場所。

アプライアンスをセットアップするには、次の手順を実行します。


1. **Windows Server の Hyper-V マネージャ** で、**Hyper-V マネージャ** メニューから **操作** → **新規** → **仮想マシン** を選択します。
2. **開始する前に** で **次へ** をクリックします。
3. **名前と場所の指定** で、仮想マシンの名前を指定します。仮想マシンを別の場所に保存するには、**仮想マシンを別の場所に格納する** を選択し、**参照** をクリックして、新しい場所をスキャンします。
4. **世代の指定** で、**第 1 世代** を選択してから、**次へ** をクリックします。
5. **メモリの割り当て** で、必要なメモリを割り当てます。最小 4096 MB が必要です。
6. **ネットワークの構成** の **接続** で、使用するネットワークを選択し、**次へ** をクリックします。
7. **仮想ハードディスクの接続** で **既存の仮想ハードディスクを使用する** を選択し、アプライアンス .VHD ファイルがある場所をスキャンして、その .VHD ファイルを選択します。
8. **概要** で指定した詳細を確認し、**完了** をクリックします。
仮想マシンを作成した後は、アプライアンスを設定する必要があります。
9. プロセッサ計数値を 2 に設定します。プロセッサ計数はデフォルトで 1 に設定されています。プロセッサ計数を設定するには、アプライアンスを右クリックし、**設定** を選択します。**設定** で **プロセッサ** を選択し、**論理プロセッサの数** を 2 に設定します。
10. **Hyper-V マネージャ** メニューで **DLCI 仮想マシン** を選択し、次の手順を実行します。
 - a. **操作** → **開始** を選択します。
 - b. **操作** → **接続** を選択します。

 **メモ:** 選択した仮想ハードディスクでアプライアンス用に新しく作成した仮想マシンが、カーネルパニックの例外で起動に失敗した場合、その仮想マシンの設定を編集し、新しく作成した仮想マシンの設定を編集する方法でこの仮想マシンの動的メモリオプションを有効にします。
この仮想マシン用の動的メモリオプションを有効にするには、アプライアンス仮想マシンを右クリックし、**設定** → **メモリ** → **動的メモリ** と選択して、**動的メモリを有効にする** にチェックを入れて選択します。
11. アプライアンスが起動したら、次の手順を実行します。


 **メモ:** デルでは、すべてのサービスが開始されるように、Aadmin としてログインする前に 5 分間待機することを推奨します。

 - a. **localhost login** に **admin** と入力します。
 - b. **Enter new Admin password** にパスワードを入力します。
 - c. **Please confirm new Admin password** にパスワードを再入力し、**Enter** を押して続行します。
 - d. **DLCI アプライアンス** で **ネットワークの設定** を選択し、**Enter** を押します。
 - e. **アクションの選択** で **DNS 設定** を選択し、**Enter** を押します。
 - f. **DNS 設定** の **ホスト名** にホスト名を入力して **OK** を押します。
たとえば、**hostname.domain.com** などです。
 - g. **アクションの選択** で **保存して終了** を押します。
12. すべての管理システムの DNS にエントリがあることを確認します。
13. アプライアンスから、管理ポータル URL をメモします。
14. 統合ゲートウェイのコントリビュータアカウントを使用して、統合ゲートウェイをインストールする予定のシステムにログインします。
15. ウェブブラウザで、管理者ポータル URL : **<IP Address or hostname>** (例 : **https://dlciforvmm**) にアクセスします。

管理ポータルにログインすることにより、コンポーネントの統合ゲートウェイとコンソールアドインをダウンロードできます。

 **メモ:** 初めて管理者ポータルにアクセスしている場合、管理者ポータルにログインするときに **Setup and Configuration** (セットアップと設定) ウィザードが表示されます。

16. **Setup and Configuration** (セットアップと設定) の **Welcome** (ようこそ) で、**Next** (次へ) をクリックします。
17. **Download and Install** (ダウンロードとインストール) で次の操作を行い、**Next** (次へ) をクリックします。
 - a. **DLCI Integration Gateway for SC2012 VMM Installation** (SC2012 VMM 用 DLCI 統合ゲートウェイのインストール) で **Download Installer** (インストーラのダウンロード) をクリックし、インストーラを保存場所に保存します。
 - b. **DLCI Integration Gateway for SC2012 VMM** (SC2012 VMM 用 DLCI 統合ゲートウェイ) インストーラを実行します。
 - c. **DLCI Integration Gateway for SC2012 VMM Welcome** (SC2012 VMM 用 DLCI 統合ゲートウェイようこそ) ページで、**Next** (次へ) をクリックします。
 - d. **License Agreement** (ライセンス契約) で、**I accept the terms in the license agreement** (ライセンス契約の条件に同意します) を選択して **Next** (次へ) をクリックします。
 - e. **License: Open-Source Software** (ライセンス: オープンソースソフトウェア) で、オープンソース関連の情報を参照し、**Next** (次へ) をクリックします。
 - f. **Prerequisites Status** (前提条件のステータス) で次の操作を行って、**Next** (次へ) をクリックします。
 1. 最新の前提条件のステータスを表示するには、**Scan for Prerequisite** (前提条件のスキャン) をクリックし、ステータスを確認します。
 2. 前提条件をインストールするには、**Install Prerequisite** (前提条件のインストール) をクリックします。

 **メモ:** **Install Prerequisite** (前提条件のインストール) をクリックすると、IG によって次の前提条件が自動インストールされます。

- Microsoft .NET 4.5 下の HTTP のアクティブ化
 - IIS 7.5 下の IIS における Windows 認証
 - IIS 7.5 下の IIS における URL 認証
 - IIS 6 WMI 互換性下の IIS 6 メタベース互換性、および IIS 6 スクリプトツール
 - フェールオーバークラスタリング
- g. **Integration Gateway Configuration** (統合ゲートウェイの設定) に、ドメインユーザーであり、System Center Virtual Machine Manager 管理者グループとローカル管理者グループに属している統合ゲートウェイサービスアカウントユーザーの詳細を入力します。アプライアンスと統合ゲートウェイ間に通信用のポートを割り当てます。有効化されているデフォルトポートは 8455 です。ただし、要件に基づいて別のポート番号を設定することができます。ステージングサーバーの場所を変更するには、**Select Share Folder** (共有フォルダの選択) をクリックし、新しい場所にスキャンしてから **Next** (次へ) をクリックします。

 **メモ:**

- 作成された共有フォルダに最低 10 GB のディスク空き容量があることを確認します。
 - 統合ゲートウェイのサービスユーザーアカウントの **Execution policy** (実行ポリシー) は **Unrestricted** (制限なし) に設定されています。
- h. デフォルトのインストールフォルダ、**Integration Gateway for VMM** (VMM 用統合ゲートウェイ) が選択されています。場所を変更するには、**Change** (変更) をクリックして新しい場所をスキャンし、**Next** (次へ) をクリックします。

- i. **Install the Program** (プログラムインストールの準備完了) で、**Next** (次へ) をクリックします。統合ゲートウェイのインストール中、次の共有ディレクトリが作成されます。
- **DLCI Protection Vault**
 - **DTK**
 - **DOWNLOADS**
 - **INVENTORY**
 - **ISO**
 - **LCDRIVER**
 - **Log**
 - **OMSA**
 - **WIM**
- j. インストールが完了したら、**Finish** (終了) をクリックします。
18. DLCI 管理ポータルに戻り、**Setup and Configuration** (セットアップと設定) の **Server Details** (サーバー詳細) の下に次の情報を入力して、**Next** (次へ) をクリックします。
- a. SC2012 VMM サーバーの完全修飾ドメイン名 (FQDN) と、SC2012 VMM サーバーの管理者ユーザー資格情報。
- ドメインユーザーであり、System Center Virtual Machine Manager 管理者グループとローカル管理者グループに属しているユーザーアカウントの資格情報を入力します。SC2012 VMM サーバー管理者ユーザーは、SC2012 VMM サービスアカウントにしないでください。
- b. 統合ゲートウェイがインストールされているサーバーの完全修飾ドメイン名 (FQDN)、統合ゲートウェイのサービスアカウントユーザー詳細、統合ゲートウェイの適切なポート番号 (デフォルトのポート番号は 8455)。
- System Center Virtual Machine Manager 管理者グループ、ドメインユーザーグループ、System Center Virtual Machine Manager 管理者グループ、およびローカル管理者グループに属しているユーザーアカウントの資格情報を入力します。
19. **Apply Settings** (設定を適用) で **Apply** (適用) をクリックして、登録プロセスを完了します。
20. Console Add-in Installation (コンソールアドインインストール) のための **Installation** (インストール) で、**Download Installer** (インストーラのダウンロード) をクリックしてインストーラを保存場所に保存します。
21. **DLCI_VMM_Console_Addin** インストーラを実行します。
22. **DLCI Console Add-in for SC2012 VMM** (SC2012 VMM 用 DLCI コンソールアドイン) の **Welcome** (ようこそ) ページで **Next** (次へ) をクリックします。
23. **License Agreement** (ライセンス契約) ページで、**I accept the terms in the license agreement** (ライセンス契約の条件に同意します) を選択してから、**Next** (次へ) をクリックします。
24. **Destination Folder** (宛先フォルダ) ページでは、インストールフォルダがデフォルトで選択されています。場所を変更するには、**Change** (変更) をクリックして新しい場所をスキャンし、**Next** (次へ) をクリックします。
25. **Ready to install the Program** (プログラムインストールの準備完了) ページで **Install** (インストール) をクリックします。
26. **InstallShield Wizard Completed** (InstallShield ウィザードの完了) ページが表示されたら、**Finish** (終了) をクリックし、インストールを完了します。

統合ゲートウェイの変更

このオプションで変更できるのはパスワードのみです。ユーザー名やポート情報を編集することはできません。

SC2012 VMM 管理者ユーザーの資格情報を変更するには、ユーザーが Active Directory 内でパスワードを変更済みであることが前提条件となります。

統合ゲートウェイを変更するには、次の手順を実行します。

1. **DLCI Integration Gateway for SC2012 VMM** (SC2012 VMM 用 DLCI 統合ゲートウェイ) インストーラを実行します。
2. **Program Maintenance** (プログラムメンテナンスで **Modify** (変更) を選択してから、**Next** (次へ) をクリックします。
3. パスワードを変更して、**Next** (次へ) をクリックします。
4. **Modify the program** (プログラムの変更) ダイアログボックスで **Install** (インストール) をクリックします。
5. 変更タスクが完了したら **Finish** (終了) をクリックします。

統合ゲートウェイの修復

統合ゲートウェイを修復するには、次の手順を実行します。

1. **DLCI Integration Gateway for SC2012 VMM** (SC2012 VMM 用 DLCI 統合ゲートウェイ) インストーラを実行します。
2. **Program Maintenance** (プログラムメンテナンスで **Repair** (修復) を選択してから、**Next** (次へ) をクリックします。
3. **Ready to Repair** (修復の準備完了) で、統合ゲートウェイユーザーアカウントのパスワードを入力し、**Install** (インストール) をクリックします。
4. 修復タスクが完了したら、**Finish** (終了) をクリックします。

SC2012 VMM と統合ゲートウェイの資格情報の変更

SC2012 VMM 管理者の資格情報および統合ゲートウェイの資格情報は、管理ポータルから変更することができます。これは、連続するアクティビティであり、まず最初に統合ゲートウェイの資格情報を変更し、それから SC2012 VMM 管理者の資格情報を変更します。

統合ゲートウェイ管理者ユーザーの資格情報を変更するには、ユーザーが統合ゲートウェイインストーラを実行し、変更オプションを選択することによって、パスワードをすでに変更済みであることが前提条件となります。


SC2012 VMM 管理者ユーザーの資格情報を変更するには、ユーザーが Active Directory 内でパスワードを変更済みであることが前提条件となります。

統合ゲートウェイまたは SC2012 VMM の管理者の資格情報を変更するには、次の手順を実行します。

1. 管理ポータルで、**Registration** (登録) をクリックします。
2. **DLCI Integration Gateway for SC2012 VMM** (SC2012 VMM の DLCI 統合ゲートウェイ) の下の **Registration** (登録) で、**Modify Credentials** (資格情報の変更) をクリックします。
3. パスワードをアップデートして、**Save** (保存) をクリックします。

SC2012 VMM 用 DLCI のアップグレード

SC2012 用 DLCI のインストールおよびセットアップ後、SC2012 用 DLCI のサービスパックアップデートが使用可能である場合、この機能を使用してサービスパックアップデートをインストールすることができます。

 **メモ:** オンライン FTP アカウントを使用する場合は、デフォルトアップデートソースのプロキシ詳細を編集して追加し、保存します。

Service Pack のアップデートについて

SC2012 VMM 用 DLCI がリリースされた後、既存のアプライアンスへのアップグレードまたは拡張機能として使用可能な、重要な欠陥の修正または機能の追加を共有する必要があります。

- Service Pack ファイルは、任意の HTTP サーバーに配置して、Service Pack のファイルを使用してアップデートを行なうことができます。
- これらの Service Pack を段階的に適用することができます。ただし、一度適用した後に元に戻すことはできません。
- この Service Pack は累積的です。つまり、最新の Service Pack では以前のすべてのリリースからの修正が含まれています。

SC2012 VMM 用 DLCI による Service Pack は次の 2 タイプです。

- アプライアンス Service Packs
- インフラ Service Packs

アプライアンス Service Pack およびインフラ Service Pack のダウンロード

デジタル資格情報サイトから Service Pack をダウンロードするための前提条件として、有効なサブスクリプションが要求されます。

インフラ Service Pack は、無料で利用可能です。

Service Pack をダウンロードするには、次の手順を実行します。

1. URL (dell.com/support/licensing/us/en/19/Lkm/Index) からデジタル資格情報ポータルにログインします。
2. 使用可能なソフトウェアのダウンロードを選択し、**Microsoft System Center Virtual Machine Manager 用 Dell Lifecycle Controller Integration** を選択して、**表示** をクリックします。
3. Service Pack をダウンロードします。

Service Pack アップデートの前提条件

アップグレードを開始する前に、次の前提条件を完了します。

1. 実行中のジョブがないことを確認します。実行中のジョブがある場合、ジョブが完了するまで待ちます。
2. SC2012 VMM 用 DLCI 仮想マシンをバックアップします。詳細に関しては、Microsoft のマニュアルを参照してください。

Service Pack アップデートのリポジトリへのコピー

ダウンロードした Service Pack を配置するには、リポジトリが必要です。
リポジトリを準備するには、次の手順を実行します。

1. サービスパックファイルを直接 HTTP サーバーに配置します。
2. ダウンロードした Service Pack をダブルクリックして、指定した場所にファイルを解凍します。
3. HTTP サイトに解凍されたファイルをコピーします。

リポジトリ URL 情報の入力

URL 情報を入力するには、次の手順を実行します。

1. **DLCI 管理ポータル – SC2012 VMM** で、**Settings (設定) → Service Pack Updates (サービスパックアップデート)** を選択します。
2. **Repository URL (リポジトリ URL)** に、**http://<servername>:<portname>/<repository path>** の形式で URL 情報を入力し、必要に応じてプロキシサーバー詳細を入力してから、**Save (保存)** をクリックします。

Service Pack アップデートのインストール

リポジトリの URL 情報が使用可能であり、**Service Pack アップデート** ページに含まれていることを確認します。詳細に関しては、「[リポジトリ URL 情報の入力](#)」を参照してください。

Service Pack アップデートをインストールするには、次の手順を実行します。

1. Service Pack が HTTP サイト内に置かれたら、**DLCI 管理ポータル – SC2012 VMM → 設定 → Service Pack アップデート** で、**アップデートのチェック** をクリックします。
SC2012 VMM 用 DLCI については、既存のバージョンとリポジトリ内で使用可能なサービスパックバージョンが表示されます。

必要に応じて、リリースノートを表示することができます。

2. **適用、OK** の順にクリックします。
アップグレードアクティビティが完了したら、DLCI 管理ポータルにログインし、次にブラウザのキャッシュ履歴をクリアします。

インストール後の手順：


Service Pack のアップデートを確認するには、次の手順を実行します。

1. 管理ポータル の **About** (バージョン情報) で、Service Pack アップデートバージョンの詳細を表示します。
2. 詳細については、管理ポータルで、**Settings (設定)** → **Logs (ログ)** を選択します。
3. **upgradelogs** ディレクトリで Service Pack のアップグレードのログファイルを表示またはダウンロードするには、<**Service Pack バージョン番号**> ディレクトリ (例えば、1.2.0.207 ディレクトリ) を選択して表示するか、Service Pack アップグレードのログファイルをダウンロードします。
4. Service Pack のアップデートに失敗した場合は、**dell.com/support** にお問い合わせください。

Service Pack のアップデートが完了したら、統合ゲートウェイをバージョン 1.2 にアップグレードしてください。

統合ゲートウェイをアップグレードするには、次の手順を実行します。

前提条件 : 作成された共有フォルダに最低 10 GB のディスク空き容量があることを確認します。

 **メモ**: ディスクに 10 GB の空き容量がない場合、インストールは警告メッセージを表示した状態で続行します。ただし、オペレーティングシステムの導入およびファームウェアのアップデートが失敗する場合があります。

1. 管理者ポータルから、統合ゲートウェイのインストーラをダウンロードします。
2. **DLCI Integration Gateway for SC2012 VMM** (SC2012 VMM 用 DLCI 統合ゲートウェイ) インストーラを実行します。
3. アップグレードを求めるメッセージで、**Yes** (はい) をクリックします。
4. **DLCI Integration Gateway for SC2012 VMM Welcome** (SC2012 VMM 用 DLCI 統合ゲートウェイのようこそ) ページで、**Next** (次へ) をクリックします。
5. **License Agreement** (ライセンス契約) で、**I accept the terms in the license agreement** (ライセンス契約の条件に同意します) を選択して **Next** (次へ) をクリックします。
6. **License: Open-Source Software** (ライセンス : オープンソースソフトウェア) で、オープンソース関連の情報を参照し、**Next** (次へ) をクリックします。
7. **Integration Gateway Configuration** (統合ゲートウェイの設定) で、統合ゲートウェイのサービスアカウントユーザーとポート番号の詳細を入力します。ステージングサーバーの場所を変更するには、**Select Share Folder** (共有フォルダの選択) をクリックし、新しい場所をスキャンしてから **Next** (次へ) をクリックします。

アプライアンスと統合ゲートウェイ間での通信のためのポートを割り当てます。有効になるデフォルトポートは 8455 ですが、要件に応じて別のポート番号を設定することもできます。

統合ゲートウェイのサービスユーザーアカウントの **Execution policy** (実行ポリシー) は **Unrestricted** (制限なし) に設定されています。

8. **Destination Folder** (宛先フォルダ) にはデフォルトのインストールフォルダが選択されています。場所を変更するには、**Change** (変更) をクリックして新しい場所をスキャンし、**Next** (次へ) をクリックします。
9. **Ready to Install the Program** (プログラムインストールの準備完了) で、**Install** (インストール) をクリックします。
10. インストールが完了したら、**Finish** (終了) をクリックします。

事後条件：このバージョンの SC2012 VMM 用 DLCI にアップグレードした後、新しい機能を使用するために以前のバージョンで使用されていたサーバーを再検出してください。

アプライアンスのアンインストール

アプライアンスをアンインストールするには、次の手順を実行します。

1. 統合ゲートウェイを削除します。詳細については、「[統合ゲートウェイの削除](#)」を参照してください。
2. コンソールアドインを削除します。詳細については、「[コンソールアドインの削除](#)」を参照してください。
3. アプライアンスを削除します。詳細については、「[アプライアンスの削除](#)」を参照してください。
4. アプライアンス固有のアカウントを削除します。詳細については、「[その他のアンインストールタスク](#)」を参照してください。



メモ: Dell Connections License Manager (DCLM) への依存関係が削除されました。したがって DCLM をアンインストールするには、『*Dell Connections Licence Manager Installation Guide*』(Dell Connections Licence Manager インストールガイド) を参照してください。

統合ゲートウェイの削除

統合ゲートウェイをインストールしたシステムから削除します。
統合ゲートウェイをアンインストールするには、次の手順を実行します。

1. コントロールパネルで **プログラム → プログラムのアンインストール** をクリックします。
2. **DLCI Integration Gateway for SC2012 VMM** (SC2012 VMM 用 DLCI 統合ゲートウェイ) を選択し、**アンインストール** をクリックします。

SCVMM からのコンソールアドインの削除

SCVMM からコンソールアドインを削除するには、次の手順を実行します。

1. VMM コンソールで **Settings** (設定) をクリックします。
2. コンソールアドインを右クリックして、**Remove** (削除) を選択します。

コンソールアドインのアンインストール

コンソールアドインをアンインストールするには次の手順を実行します。

1. コントロールパネルで **プログラム → プログラムのアンインストール** をクリックします。
2. **DLCI Console Add-in for SC2012 VMM** (SC 2012 VMM 用 DLCI コンソールアドイン) を選択し、次に **アンインストール** をクリックします。

アプライアンスの削除

アプライアンスを削除するには、次の手順を実行します。

1. **Windows サーバー** の **Hyper-V マネージャー** でアプライアンスファイルを右クリックし、**オフにする** をクリックします。
2. アプライアンスファイルを右クリックし、**オフにする** をクリックします。

その他のアンインストール手順

これには、アプライアンス固有の **RunAsAccounts** の削除、および **DLCI アプリケーションプロファイル** の削除が含まれます。

アプライアンス固有の **RunAsAccounts** の削除

アプライアンス固有の **RunAsAccounts** を SC2012 VMM コンソールから削除するには、次の手順を実行します。

1. SC 2012 VMM コンソールで **Settings** (設定) をクリックします。
2. **RunAsAccounts** をクリックします。
3. アカウントのリストから、アプライアンス固有のアカウントを削除します。
アプライアンス固有のアカウントには、先頭に **Dell** が付いています。

DLCI アプリケーションプロファイルの削除

SC2012 VMM コンソールで、**ライブラリ** → **プロファイル** → **アプリケーションプロファイル** を選択し、**DLCI-VMM アドイン登録プロファイル** を削除します。

デルサポートサイトからの文書へのアクセス

必要なドキュメントにアクセスするには、次のいずれかの方法で行います。

- 次のリンクを使用します。
 - すべての Enterprise システム管理マニュアル – [Dell.com/SoftwareSecurityManuals](https://www.dell.com/support/manuals)
 - OpenManage マニュアル – [Dell.com/OpenManageManuals](https://www.dell.com/support/manuals)
 - リモートエンタープライズシステム管理マニュアル – [Dell.com/esmanuals](https://www.dell.com/support/manuals)
 - OpenManage Connection エンタープライズシステム管理マニュアル – [Dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement](https://www.dell.com/support/manuals)
 - Serviceability Tool マニュアル – [Dell.com/ServiceabilityTools](https://www.dell.com/support/manuals)
 - OpenManage Connections クライアントシステム管理マニュアル – [Dell.com/DellClientCommandSuiteManuals](https://www.dell.com/support/manuals)
- Dell サポートサイトから、
 - a. [Dell.com/Support/Home](https://www.dell.com/support/home) に移動します。
 - b. **製品の選択** セクションで、**ソフトウェアとセキュリティ** をクリックします。
 - c. **ソフトウェアとセキュリティ** グループボックスで、次の中から必要なリンクをクリックします。
 - **エンタープライズシステム管理**
 - **リモートエンタープライズシステム管理**
 - **Serviceability Tools**
 - **Dell Client Command Suite**
 - **接続クライアントシステム管理**
 - d. ドキュメントを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。
- 検索エンジンを使用します。
 - 検索 ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。